

食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」の展開について（案）

1 目的・概要

我が国では、食べ残しや手付かず食品など、本来食べられるのに廃棄される食品ロスは、平成25年度の推計ではWFP（国連食糧支援機関）の1年間の食糧支援量の約2倍に相当する632万トンと推計されており、国は6府省で構成する「食品ロス削減関係省庁等連絡会議」を設置し、食品ロス削減に向けた国民運動を展開している。こうしたなか、本市では、生ごみの約3分の1を占める食品ロスの削減を、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画において主要な課題の一つに位置づけ、市民団体、事業者及び本市で構成する広島市ごみ減量リサイクル実行委員会（以下「実行委員会」という。）による「ごみ減らそうデー」や本市独自の取組として「エコクッキング教室」等の諸事業を実施している。

今後は、さらに、食品ロスの削減を進めるために、実行委員会に飲食店やホテル・旅館の関係団体を加え、実行委員会において、新たに飲食店やホテル・旅館等における料理の食べきりや持ち帰りを推進する「食べ残しゼロ推進協力店」及び小売店における食品ロスの削減を推進する「食品ロス削減協力店」の登録・PRを行い、市民及び民間事業者による自主的な取組を促すキャンペーンを平成29年2月から実施する。

2 キャンペーンの名称等

名称及び狙い	キャンペーンロゴマーク
<p>食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」</p> <p>このキャンペーンが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品ロス削減のために、市民、事業者、行政が一体となった取組を促進するものであること ○ その結果として、「もったいない」を取戻し、広島市では、食べ物が捨てられるという状況が解消され、食品ロス削減国民運動ロゴマーク「ろすのん」の涙目の表情が笑顔に変わることを願って、「スマイル！ひろしま」とする。 	

3 キャンペーンの詳細

